

## 景況実感調査(2017年12月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 高炉メーカーの更なる値上げとロールカットで、売りたいくても売れない状況が続くそう。直需のユーザーは好調で出荷量は増加している。母材を大切にしておかないと供給責任が果たせなくなってしまう。安価な先には販売できない。
- ② 実稼働日19日も倉出しは18日間となり、得意先も同様に12月27日が最終デリバリー。単価面では下値が切り上がり、徐々に値上げが浸透しやすい環境となってきた。製造現場、施工技能者、トラック運転手不足もかなり深刻化してきており人件費、資材共にコスト転嫁を進めないと事業の継続が難しいフェーズに入ってきた。需給の引き締まりの環境下にこれを客先と共有して行きたい。
- ③ 高炉メーカーは店売り向けを中心にした受注調整を続けており、国内需給のタイト感も継続すると思われる。在庫も歯抜け状態にならないよう、スポット買いには対応出来ない状況である。
- ④ 11月比で売上、数量共に落ちたが悲観視していない。各需要家、物件は抱えているので、1~3月は数量を確保できそうだが、採算がついてくるように値上げしていきたい。

### 中板

- ① 需給は全体的に堅調であり、ユーザーに対する供給責任重視から、二次三次特約店の在庫補充も顕著となっており、コイルセンター在庫もメーカーの供給減少により逼迫感が日増しに強くなっている。東京製鉄の12月売り出し価格の値上げ発表後、引合いも顕著となっており、正月明けの市況上昇が予想される。流通にとっては在庫が全て高単価材となっており、更にメーカーの引き続きの再値上げ表明もあることから、ユーザーへの価格転嫁が喫緊の課題であることに変わりはない。

### 厚板

- ① 鉄骨ファブの山は相変わらず高いし、建産機も2020年までは高生産と維持する模様である。

### 开形鋼

- ① 例年9、10、11月は繁忙なのに今年はそれが無かった。しかし、12月に入り繁忙が戻ってきたようだ。前年同様、4月までこの繁忙が続いてくれると有り難い。

### 工开形鋼

- ① 12月の倉出しは横這いで前年と同様に季節なりの出荷。需要は有り、メーカー値上げと輸送コストの転嫁を早急に行っていく。

## 異形棒鋼

- ① メーカー値上げが本格化し、最終ユーザーまで浸透してきたと認識している。新規物件は相変わらず低調。在庫販売は比較的堅調にて、今後市況押し上げに努力してゆきたい。
- ② メーカーの値上げが早い。店売りは7万円台を超えていく。

## 平鋼

- ① 一部では実需が動いているように思えるが、荷動きは増えていない。メーカーの連続値上げのため価格転嫁を進めているがスピードが遅い。徐々に採算面に効いてくるため、引き続きお願いしていく。
- ② 原料高によるメーカー値上げが続く中、価格転嫁を進めている。他の一般鋼材に比べて転嫁が遅れているため、更なる価格上昇に向け、ユーザーの理解を求めていく。

## 軽量形鋼

- ① 値上げのスピードが速く、同じようなスピード感で値上げが出来ないために粗利が日を追うごとに悪くなってしまっている。
- ② 昨年1年間は、年初の好調が結果的に年間製造量の伸びに繋がった。

## 鋼管

- ① 荷動きはいま一つでも、価格を優先し値上げを継続。
- ② 12月に入って荷動きは停滞しているが、価格は強含みで推移。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は国内外共に堅調な動きが続いている。建設機械関連は、中小型機種に加えて大型機種も増加傾向になっており、しばらく続くものと思われる。工作機械は高操業が続いており、部品供給が追い付かず生産が遅れている状況である。店売りの荷動きは回復傾向が続いており、堅調な動きとなっている。市況については、去年秋口以降の店売り値上げはほぼ浸透しているが、各メーカーが更なる値上げを発表しており今後、再販価格の追加値上げを実施していかざるを得ない状況である。市中在庫は各メーカーの受注抑制や納期遅れによりタイトな状況である。
- ② 店売りの状況は厳しく、低調な状態で推移している。
- ③ 構造用鋼の入荷増により若干の在庫増。出荷については、工具鋼、構造用鋼共に若干の減。大きな動きは無し。

## 鋼材全般

- ① 12月上旬は荷動きが無く、例年と比較しても悪かった。値上げアナウンスに終始しているが、顧客の販売意欲は低調。1月も同様と思われ、年度末まで辛抱が続く。

## その他

### <スクラップ>

- ① スクラップ価格は続伸している。1月にかけても市況のマイナス要因はあまり聞こえてこないで、このまま堅調に推移していくのではないかと。

### <金属表面処理加工>

- ① 12月は物件物、紐付き共に予定通り。スポットは年末の駆け込みも含めて予想していたが、年明けからの手配が多く前月比10%ダウンの結果となった。1月は表面処理加工から重塗装案件も控えており、付加価値のある作業を含め、安定操業を維持出来そうである。亜鉛の更なる高騰によりジンク系塗料が益々高騰。年明けよりジンク仕様の加工単価改定の予定。